

第 68 回企画展

中野和馬の陶芸

抵抗と創造の軌跡

2016年10月29日(土) — 2017年1月15日(日)

■開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ■観覧料／300円(240円)・中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金、障害者手帳を提示された方と介助者1名まで無料 ■休館日／月曜日、祝日の翌日[11月4日(金)、11月24日(木)、1月10日(火)]、年末年始[12月26日(月)～1月3日(火)]
■博物館無料開放日／11月3日(木・祝) 文化の日・文化財ウィーク協賛

島田市博物館 〒427-0037 静岡県島田市河原一丁目5番50号
TEL(0547)37-1000 FAX(0547)37-8900

島田市博物館分館 〒427-0037 静岡県島田市河原二丁目16番5号
TEL/FAX (0547)34-3216

後援：島田高等学校同窓会 協力：中野和馬展実行委員会

ヒストピア島田
歴史・文化・芸術を楽しむエリア
ホームページ shimahaku.jp
フェイスブックで情報発信中



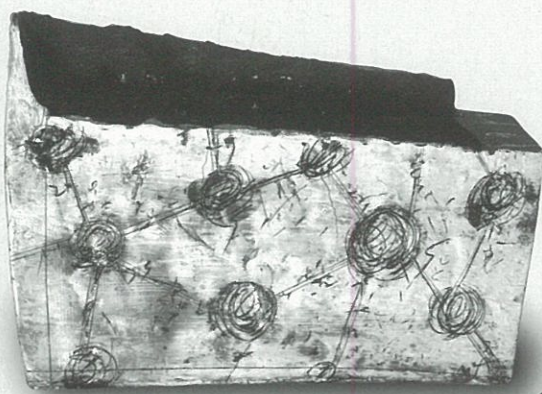
資源ごみはリサイクルへ この紙は再生紙を使用しています

中野和馬の陶芸

— 抵抗と創造の軌跡 —

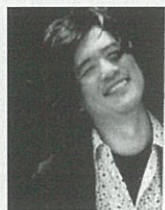
風のように、43歳の若さで陶の原野を駆け抜けた陶芸家 中野和馬。権威や常識などの既成なものに抗いながら、独自の表現・真の創造を志向した彼の作品は没後7年を経た今、ますます人々の心を捉えて止みません。

今回、島田市博物館本館・分館の両方を会場として、初期習作から造型の可能性を追求した実験作、そして化粧土(スリップウェア)を駆使した後期の代表作まで紹介いたします。激しく陶芸に生きた稀有な個性の躍動を御鑑賞下さい。



関連 イベント

- 博物館講座「中野和馬の陶芸について」：11月20日(日) 午後1時30分～午後3時
講師／山本浩二氏(常葉大学造形学部准教授) 場所／博物館2階 講座室
- ギャラリートーク：11月5日(土)・12月3日(土) 午後2時～(30分程度・申し込み不要)
場所／博物館2階 特別展示室へお集りください。
- 「KAZMAで一服」(無料呈茶サービス)：毎週日曜日 午前10時～午後3時
場所／博物館本館 ラウンジ ※中野和馬の作品を使ってお茶を楽しめます。



中野和馬プロフィール

1966年、島田市(旧金谷町)に製茶商の長男として生まれる。島田高校時代には肺気胸を患い入院生活を余儀なくされたが、野球部、山岳部で活躍し、生徒会長を務める。大学卒業後、就職するも次第に陶芸生活への思いが募り、一年で退職。デンマークに渡り、「オフィス・アート・アカデミー」で陶芸を学ぶ。帰国後、鯉江良二氏に師事。その後独立し、郷里に戻り陶芸家としてのスタートを切る。1995年、初の個展を開催。デンマークと日本での創造活動を続ける傍ら、ギャラリーでの個展を全国各地で開催し好評を博す。2007年、牧之原市に念願の工房を作り、制作拠点とする。しかし、2009年9月18日、心不全で急逝。享年43歳。

会期中 分館日本家屋展示案内：「海野光弘～静岡三十五景～」

交通案内

- JR 島田駅北口より1番乗り場 路線バス「金谷島田病院線(金谷駅行)」乗車5分、向島西バス停下車 徒歩10分
- JR 金谷駅から路線バス「島田駅・島田市民病院方面行き」乗車10分、向島西バス停下車徒歩10分
- 東名高速道路 吉田ICから10km 相良牧之原ICから12km・約20分
- 新東名高速道路 島田金谷ICから6km・約16分
- 国道1号線旗指(はっさし)ICまたは向谷(むくや)ICから約2.5km・約5分
- タクシーのご利用 JR 島田駅から約5分、JR 金谷駅から約10分
- 富士山静岡空港から車で金谷方面経由約20分

島田市博物館

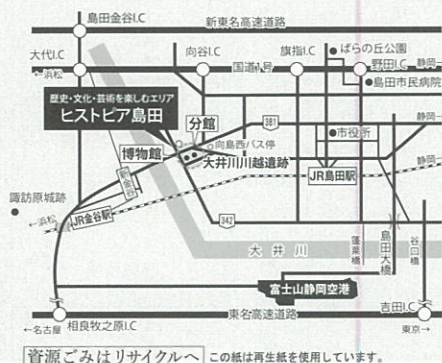
〒427-0037 静岡県島田市河原一丁目5番50号
TEL (0547) 37-1000 FAX (0547) 37-8900

島田市博物館分館

〒427-0037 静岡県島田市河原二丁目16番5号
TEL/FAX (0547) 34-3216

ヒストピア島田
歴史・文化・芸術を楽しむエリア

ホームページ shimahaku.jp
フェイスブックで情報発信中



資源ごみはリサイクルへ この紙は再生紙を使用しています。